

## 未明の土佐湾震源の地震 専門家は

6/10(水) 19:27 配信

テレビ高知



テレビ高知

きょう未明、土佐湾を震源とする地震があり、高知県黒潮町と中土佐町で震度4を

2020.06.11(THU)copy

きょう未明、[土佐湾](#)を震源とする地震があり、高知県黒潮町と中土佐町で震度4を観測しました。この地震による津波はなく、被害の情報も入っていません。今回の地震のメカニズムや今後、私たちが気をつけなければならない点など専門家にききました。きょう午前0時22分ごろ、須崎市沖の土佐湾を震源とするやや強い地震がありました。震源の深さはおよそ20キロ、地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定されています。各地の震度は震度4が中土佐町、黒潮町、震度3が高知市や南国市など7市町。ほか24の市町村では震度2や1を観測しました。この地震による津波は観測されませんでした。「地震の発生から1時間が経ちました。県庁では危機管理部の職員が全員参集し情報収集に当たっています。」

(姫野幸太記者) この地震による被害の情報が入っていません。震度4を観測した黒潮町は午前0時

45分に災害対策本部を設置しましたが、午前1時半に解散しました。南海トラフ地震の震源域で起きた今回の地震。地震について研究している専門家も「驚いた」といいますが、「南海トラフ地震との直接の関連は無い」とみえています。「そうですね、非常に驚かまして…まず場所が、南海トラフ地震の震源域と考えられている場所でしたし、震源の深さも約20キロと、南海トラフ地震が起きそうな場所でしたので関連があるのではないかと驚きました。ですが、[南海地震](#)は、プレートの沈み込む方向＝『南から北の圧縮の力で起こる』と考えられますが、今回の地震は東西の圧縮の力（によるもの）。またマグニチュードも今回は4.6と中程度の地震でしたので南海トラフ地震との直接的な関連は今のところは考えられていません。」（高知コア研究所 [浜田](#)洋平研究員）

ただ、今回の地震により今後は地震活動が活発になるなど「南海トラフ地震に関連する兆候が見られる可能性もある」と指摘しています。今回の地震の震源地は陸地に近い場所で、緊急地震速報が発表される前に揺れが先に襲ってくるケースも考えられます。浜田研究員は、「現在の緊急地震速報のシステム上、これはやむを得ないこと」とした上で、「揺れの後に落ち着いて行動することが大切だ」といいます。「2011年の東日本大震災のように、大きな被害は揺れの後にやってくる津波でもたらされる。仮に少し[揺れた](#)後に緊急地震速報がきても、まずすべき行動は『その後さらに大きな揺れが来ないか』。その大きな揺れに備えたのち、津波を警戒して津波避難場所へ移動する。そういった行動を取る時間があるので落ち着いて行動することが大事。」（高知コア研究所 [浜田](#)洋平研究員）また浜田研究員は、今回の地震が夜の未明に起きたことを受けて、「寝る場所の周りに落ちてくるものが無いか、家具の配置に問題がないか。今回の地震を機に寝る場所の安全性を見直してほしい」と話しています。

最終更新:6/10(水) 19:27

[テレビ高知](#)